

育G潮流

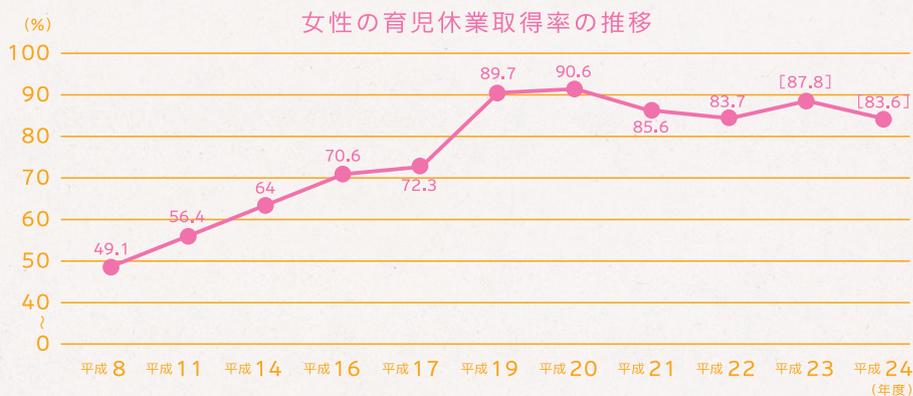
— 男性の育休はなぜ増えない？ —

7月上旬に発表になった男性の育児休業取得率は、1.89%と前年と比べ0.74%減少した。世の中的には、イクメンブームもあり、男性の子育てはアタリマエになってきた感があったが、実際にはまだ結果に結びついていないようだ。

なぜ男性の育児休業取得率が上がらないのか。当事者のパパたちからは、「今後の昇格、昇級に影響が出そうで心配」「前例がない」と言う声が聞こえてくる。

上司であるみなさんがご自身の経験を踏まえ、「後悔しないように、育休をとって子育てしてこい!」と部下に声をかけるようにしたら、日本の男性の育休取得率も上がるのではないだろうか。

(NPO法人孫育て・ニッポン ぼうだ あきこ)



※注：平成23年度及び平成24年度の [] 内の比率は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

育G771Ⅱ

育Gスタイリスト G・ハヤシが「ソフリエ」のみなさんに聞きました。
いまどきの孫育てのコツとは？

最重要ポイントは、昔の育児の「常識」ととらわれないこと。たとえば、昔は、おむつをとるために早い時期からの「トイレ・トレーニング」に熱心だった。→今は、おねしょも5～6歳まで気長に待つのがよいとされる。夜中に起こしてトイレに行かせることは、膀胱や尿量を調整するホルモン分泌の発育のために逆効果。

昔は、自立が遅れるなどと「添い寝」に否定的だった。→今は、赤ちゃんがぐっすり安心して眠るなら「添い寝」もよい。などなど。とにかく、今の育児を素直に学ぶのがポイント。

ママにも積極的に質問してみるとコミュニケーションがはかれて、さらに一石二鳥です！

